

事業コード	H19-建-継-07		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2493
路線名等	(主)男鹿琴丘線		担当課長名	加藤 修平
箇所名	男鹿市 百川		担当者名	伊藤 茂
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	04	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H17 ~ H25 (9年)		総事業費	19.7億円	国庫補助率	5.5/10
事業規模	延長 L = 4,696m、幅員 W = 6.0(8.5)m					
事業の立案に至る背景	当該路線は、男鹿市若美から男鹿市街地への通勤、通学、通院等の日常生活を支援するとともに、観光拠点である寒風山への能代地区からのアクセス道路となる重要な路線である。当該区間は、バス路線及び通学路でもあり、地域住民にとって欠かせない道路であるにもかかわらず、幅員狭小、急カーブで、歩道もなく、人身事故が毎年のように発生しているため、円滑な交通の確保と地域住民の安全性確保を早急に図るため、道路整備を行うものである。					
事業目的	大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援) 通学路における歩道未整備箇所の解消(安全な生活環境の確保) 冬季未改良区間の解消(道路の防災対策・危機管理の充実)			車道幅員3.0m 最小半径15m 歩道なし 路肩幅員0.5m		
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		1,970,000	1,970,000	0	
	経費内訳	工事費	1,490,000	1,490,000	0	
		用補費	450,000	450,000	0	
		その他	30,000	30,000	0	
	財源内訳	国庫補助	1,083,500	1,083,500	0	
		県債	840,000	840,000	0	
その他		0	0	0		
一般財源		46,500	46,500	0		
事業内容		調査・設計 用地買収補償 改良工、舗装工	調査・設計 用地買収補償 改良工、舗装工			
事業の進捗状況	地元の同意を得て、平成19年度より用地買収に着手している。					
事業推進上の課題	特になし					
関連する計画等	あきた21総合計画における「地域内ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業 ほ場整備事業					
情勢の変化及び長期継続の理由	平成17年3月22日に旧男鹿市・若美町が合併し、男鹿市になった。					
事業効率把握の手法及び効果	指標名	県道改良率				
	指標式	改良率(改良済延長/実延長)				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目標値 a	68.8 %		データ等の出典	道路現況調査	
	実績値 b	69.5 %				
達成率 b/a	101.0 %		把握の時期	平成19年 8 月		

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点									
必 要 性	当該区間は、幅員狭小(車道幅員3.0m)及び線形不良(最小曲線半径15m)で冬期堆雪幅が確保されておらず、道路構造上の欠陥箇所が多数存在する。 通学路指定路線であるが、歩道がなく、事故率も71件/億台キロと高いため、早急な整備が必要である。	12点									
緊 急 性	交通量が増加している他、市町村合併支援道路としての位置づけもあることから早急な道路整備を行う必要がある。	7点									
有 効 性	<table border="0"> <tr> <td>安全な生活環境の確保</td> <td>人身事故</td> <td>減少</td> </tr> <tr> <td>地域づくりの支援</td> <td>車道3.0m</td> <td>6.0m</td> </tr> <tr> <td>道路の防災対策・危機管理の充実</td> <td>路肩0.5m</td> <td>1.25m</td> </tr> </table> 県の「生活圏30分形成道路」の区間であり、整備後の有効性は高い。	安全な生活環境の確保	人身事故	減少	地域づくりの支援	車道3.0m	6.0m	道路の防災対策・危機管理の充実	路肩0.5m	1.25m	30点
安全な生活環境の確保	人身事故	減少									
地域づくりの支援	車道3.0m	6.0m									
道路の防災対策・危機管理の充実	路肩0.5m	1.25m									
効 率 性	事業の費用便益比は1.98であり効率性は高い。	19点									
熟 度	事業に対する地元の同意を得ており、用地買収も順調に進んでいることから計画通りの進捗である。	13点									
判 定	ランク () 「有効性」が特に高い点数となっており、安全な生活環境の確保のため引き続き実施すべきである。	81点									
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止										
	事業継続は妥当である。										

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード (H19-建-継-07)

適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (男鹿市 百川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	8	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	6		
	・最小半径 < 100m	1箇所	4		
	・最急勾配 > 5%	0箇所以上	0		
	・冬期堆雪巾なし				
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	4	
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	6		
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	5		
	・現道の事故率 50件	2件該当	4		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	2			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計			15	12	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	3	
		位置づけなし	0		
	交通量	増加している	3	0	
		増加していない	0		
特有の課題の有無	あり	5	0		
・老朽橋、災害危険箇所、 ・冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	7	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	7	7	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7	
		該当しない	0		
	地域防災計画に重要な道路	該当する	7	7	
	該当しない	0			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計			30	30	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
		0.5以上~1.0未満	3		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	5	4	
		500台/日以上~1,000台日/未満	4		
		300台/日以上~500台日/未満	3		
		300台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	
		なし	0		
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	e t c 大規模バイパス e t c 部分的ミニバイパ e t c 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計			20	19	
熟度	事業の進捗進捗状況				
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	8	
	5割以上完了	8			
	1割以上完了	5			
	1割未満	2			
計			20	13	
合計			100	81	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		